

事務事業名	例規管理事業	事務事業No.	60302000720	所属課	総務課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<p>【実施の背景】</p> <p>桜川市文書管理規程第26条の規定により、条例、規則、訓令、その他総務課長が例規集に掲載する必要があると認めるものについては例規集に掲載することとなっている。例規の検索性、利便性を向上させるため、製本に加えてデータベースも作成している。</p> <p>利用状況を勘案し、平成24年度からは、簡易製本とし、作成部数も50部から5部へ削減した。また、同年度から例規サポートシステムを導入し、更なる事務の効率化に努めている。</p>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
例規システムの活用によって、担当課での改め文や新旧対照表の作成といった改正準備が簡単になり、時間短縮にもつながっている。操作研修もわかりやすいとの意見が多い。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評 価 項 目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 例規文書を例規集としてまとめ、製本、データベースとして整備することは、例規文書利用時の検索性と利便性の向上につながるため、効率的な事務事業の推進に寄与するものである。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 例規は、市政の執行に必要なものであり、市が行うことが妥当である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない インターネット回線とLGWAN回線との分離が行われたが、従来通りの閲覧や利用ができていないため、向上余地はない。
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 例規管理事業を廃止・休止した場合、市民及び職員は最新の例規を容易に確認できなくなる。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 連携の可能性はない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 委託業者とのやり取りに要する時間が主であり、制定改廃の件数に比例するものであり、削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市の例規を広く一般に公開するものであり、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)														
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	令和元年度のデータベースへの登録例規は条例31件、規則42件、訓令30件、告示35件。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td rowspan="2">向上維持低下</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加					
成果	向上維持低下			コスト										
		削減	維持	増加										
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果 ④														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>